

大切な
甲賀市の自然 ⑬

甲賀市内にすむ
絶滅が心配される動植物や
それらを育む大切な
自然についての連載です

春の花
ヤマシャクヤク

5月、木もれ日のあたる林の中にひときわ明るい、一重の白い花を咲かせます。関東・中部地方以西に分布する野生のシャクヤクの仲間です。5～7枚の花びらが重なり合って、多数の黄色い雄しべと赤い柱頭をもった雌しべを包むように咲きます。石灰岩地を好み、主に落葉広葉樹林下に生える多年草ですが、植林された杉林の中にも生育していることがあります。秋に実は熟しますが、成熟した種子は丸くて黒色、他に小さくて紅色の不稔（芽が出ない）の種子が多数つきます。

ヤマシャクヤクは生育環境の変化などで、全国的に絶滅危惧植物のひとつとしてあげられ、また滋賀県の「大切にしたい滋賀の野生生物」（2005）では、希少種として掲載されています。

観賞用に植えられるシャクヤク（芍薬）は中国北部からシベリア東部に分布する多年草で、中国では古くから薬用、観賞用として栽培され、多くの園芸品種がある植物ですが、ヤマシャクヤクも花の美しさから盗掘されており、さらに減少することが予想されます。甲賀市では、山地に小さな群落で生育するのが確認されていますが、植林地の中が多いことから、生育環境の悪化も心配されます。



▲ヤマシャクヤク

5月の
休園日

1日(火)、7日(月)、14日(月)、21日(月)、28日(月)

みなくち子どもの森自然館

☎ 63-6712 FAX 63-0466

山内俳句教室

今回は、あいの土山文化協会からお寄せいただきました。

甲賀市文化協会連合会文芸欄

- ・ 嘖りや拭き込まれたる堂の緑 北林 久枝
- ・ 溪の水早く成りけりつばくろめ 辻 好子
- ・ 山鳩や誰も通らぬ村の昼 岡田みちゑ
- ・ 夕燕鎌砥ぐ水の笹濁り 落合 道夫

もつく会

- ・ 春灯し乳飲む嬰児の頬光る 福永 昭子
- ・ 帯ゆるき博多人形春灯下 奥村 露子
- ・ 親展の封書開くや春灯下 田村 勝子
- ・ 摘み終えて抱けば軽き蓬かご 松山多津子
- ・ 亡き母を想ひて土手の蓬摘む 藤田 恭子
- ・ 白梅や荒吹く風に身を縮め 福井 真理
- ・ 踏み外し支えし膝へ雪解水 大西多喜男
- ・ 焼く芝を逆上りして見てるかな 松山 維木
- ・ 電柱は谷に傾き辛夷咲く 前川きくじ

次号（6月1日号）は、水口町文化協会の予定です。